【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成24年2月2日(2012.2.2)

【公開番号】特開2011-12075(P2011-12075A)
【公開日】平成23年1月20日(2011.1.20)
【年通号数】公開・登録公報2011-003
【出願番号】特願2010-226022(P2010-226022)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/77　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/04　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/02　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 1/04　　(2006.01)
Ｃ１２Ｑ　 1/68　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/77
Ａ６１Ｐ　31/04
Ａ６１Ｐ　17/00　　１０１
Ａ６１Ｐ　17/02
Ａ６１Ｐ　 1/04
Ｃ１２Ｑ　 1/68　　ＺＮＡＡ

【手続補正書】
【提出日】平成23年12月8日(2011.12.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
哺乳類の上皮へのバクテリア細胞の付着を阻害することにより、上皮性関門疾患を処置する薬剤の製造において、ポリエチレングリコール（ＰＥＧ）が少なくとも１５，０００ドルトンの平均分子量を有する前記ＰＥＧの使用。
【請求項２】
前記哺乳類の上皮へのバクテリア細胞の付着が、腸由来敗血症、熱傷、新生児壊死性腸炎、重篤な好中球減少症、有毒な大腸炎、炎症性腸疾患、腸疾患及び嚢炎からなる群より選択される疾患の徴候である請求項１に記載の使用。
【請求項３】
前記動物が、イヌ、ネコ、ヒツジ、ヤギ、雌ウシ、ブタ、ニワトリ、ウマ及びヒトからなる群より選択される請求項１に記載の使用。
【請求項４】
前記動物が、ヒトである請求項３に記載の使用。
【請求項５】
前記ＰＥＧが、１０～２０％のＰＥＧを含む水溶液である請求項１に記載の使用。
【請求項６】
前記水溶液が、１０％のＰＥＧを含む請求項５に記載の使用。
【請求項７】
前記薬剤が、腸管病原体におけるＰＡ－Ｉ　レクチン／アドヘシンの発現を阻害するこ

とにより上皮性関門疾患を処置するためにある請求項１に記載の使用。
【請求項８】
前記薬剤が、ＰＡ－Ｉ　レクチン／アドヘシンの腸管に誘発される活性化を阻害することにより上皮性関門疾患を処置するためにある請求項１に記載の使用。
【請求項９】
前記薬剤が、腸管病原体のＣ４－ＨＳＬに誘発される形態変化を阻害することにより上皮性関門疾患を処置するためにある請求項１に記載の使用。
【請求項１０】
前記薬剤が、腸管病原体における病原性発現を減少させることにより上皮性関門疾患を処置するためにある請求項１に記載の使用。
【請求項１１】
前記薬剤が、病原菌クオラムセンシングの構成を防ぐことにより腸の病変形成を寛解するためにある請求項１に記載の使用。
【請求項１２】
前記バクテリア細胞が、シュードモナス菌である請求項１に記載の使用。
【請求項１３】
前記シュードモナス菌が、緑膿菌である請求項１２に記載の使用。
【請求項１４】
前記薬剤が、バクテリア細胞におけるＰＡ－Ｉ　レクチン／アドヘシンの発現を減少させることにより上皮性関門疾患を処置するためにある請求項１に記載の使用。
【請求項１５】
前記ＰＥＧが、組織分布的に非対称様式で、腸上皮細胞またはバクテリア細胞に付着する請求項１に記載の使用。
【請求項１６】
前記バクテリア細胞が、腸管病原体であり、腸管病原体の増殖特性に検出可能な修飾がない請求項１に記載の使用。
【請求項１７】
前記薬剤が、腸内に導入される、デキストラン、デキストラン被覆Ｌ－グルタミン及びデキストラン被覆イヌリンからなる群より選択される、効果的な量の化合物をさらに含む請求項１に記載の使用。
【請求項１８】
前記薬剤が、腸内に導入される効果的な量のＬ－グルタミンをさらに含む請求項１に記載の使用。
【請求項１９】
腸由来敗血症の治療上の処置または予防のためのキットであって、
（ｉ）少なくとも１５，０００ドルトンの平均分子量のポリエチレングリコール及び適したアジュバンド、キャリアまたは希釈液を含む医薬品の組成、及び
（ｉｉ）腸由来敗血症の治療上の処置及び予防における前記組成の使用を記載するプロトコル
を含むキット。
【請求項２０】
呼吸器感染症を予防するための薬物の製造において、ポリエチレングリコール（ＰＥＧ）が少なくとも１５，０００ドルトンの平均分子量を有する前記ＰＥＧの使用。
【請求項２１】
前記呼吸器感染症が、人工呼吸器関連肺炎及び感染症からなる群より選択される請求項２０に記載の使用。
【請求項２２】
ＰＥＧを有する組成物の使用であって、
慢性尿路感染症を予防するために、少なくとも１つの尿路部を洗浄するための薬剤の製造において、前記ＰＥＧが少なくとも１５，０００ドルトンの平均分子量を有する前記Ｐ

ＥＧを有する組成物の使用。
【請求項２３】
前記尿路部が、少なくとも膀胱を含む請求項２２に記載の使用。
【請求項２４】
前記薬剤が、ポリエチレングリコール（ＰＥＧ）をコンドームに適用するステップを含む、性行為感染症を予防するためにある請求項１に記載の使用。
【請求項２５】
ポリエチレングリコール（ＰＥＧ）による少なくとも部分的な被膜を含むコンドームであって、
前記ＰＥＧが少なくとも１５，０００ドルトンの平均分子量を有するコンドーム。
【請求項２６】
前記薬剤が消化管疾患を予防するためにある請求項１に記載の使用。
【請求項２７】
前記薬剤が、新生児壊死性腸炎、抗菌に誘発される下痢、偽膜性大腸炎、炎症性大腸疾患、過敏性大腸疾患、好中球減少性腸炎、膵炎、腸内毒素症、顕微鏡的大腸炎、スイマーズイヤー、急性または慢性中耳炎、人工呼吸器関連肺炎、腸由来敗血症、慢性疲労症候群、慢性尿路感染症、性行為感染症、及び感染症からなる群より選択される疾患を処置するためにある請求項１に記載の使用。
【請求項２８】
前記薬剤が、ミルクの出に影響を及ぼす微生物に仲介される疾患になる危険のある、乳腺の上皮表面を示す動物において、授乳能力の損失を予防するためにある請求項１に記載の使用。
【請求項２９】
前記薬剤が、授乳年齢の動物において、上皮性関門機能障害の発生を予防するためにある請求項１に記載の使用。
【請求項３０】
前記ＰＥＧを調製粉乳と混合する請求項２９に記載の使用。
【請求項３１】
調製粉乳及びポリエチレングリコール（ＰＥＧ）を含む組成物であって、
前記ＰＥＧが少なくとも１５，０００ドルトンの平均分子量を有する組成物。